

安全・安心ネットワーク技術

狙い

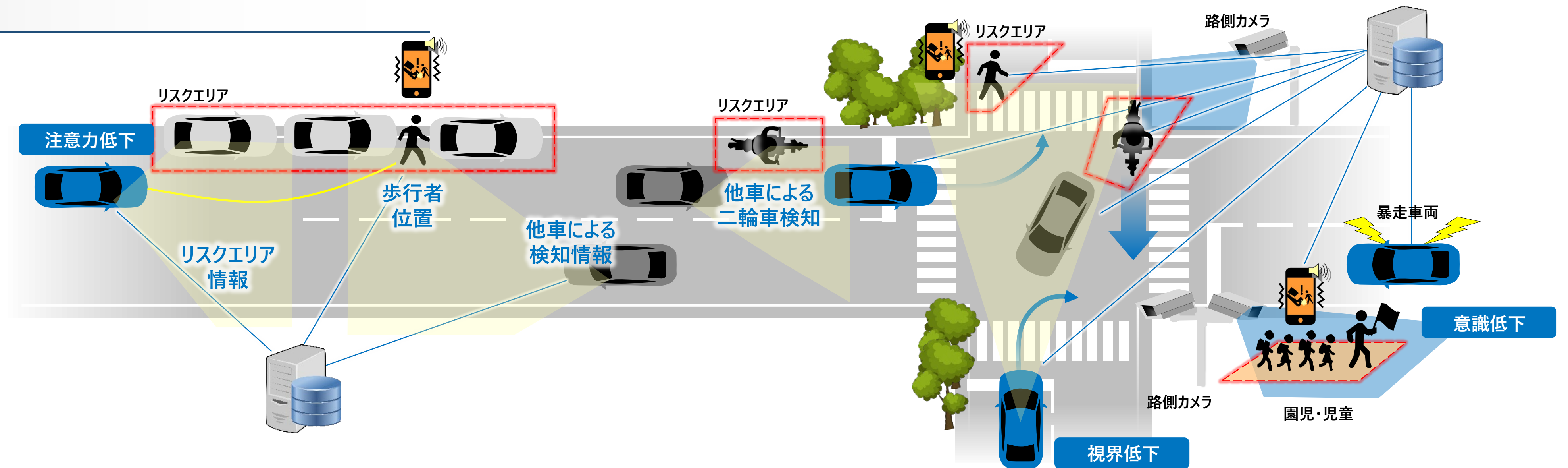
通信技術の活用により、それぞれの交通参加者の状態と交通シーンに応じた適切な情報を提供することで、誰もぶつからない交通社会の実現を目指す

技術内容

すべての交通参加者の行動、状態を推定、統合的に判断しリスクを予兆する技術で事故の未然防止に貢献

技術の特徴

- 通信活用によりすべての交通参加者とつながる
- カメラ/プローブ情報により交通環境に潜むリスクを集約
- 個人の状態/特性に応じて適切にリスク情報を配信



人特性理解

ヒトセンシング・状態推定



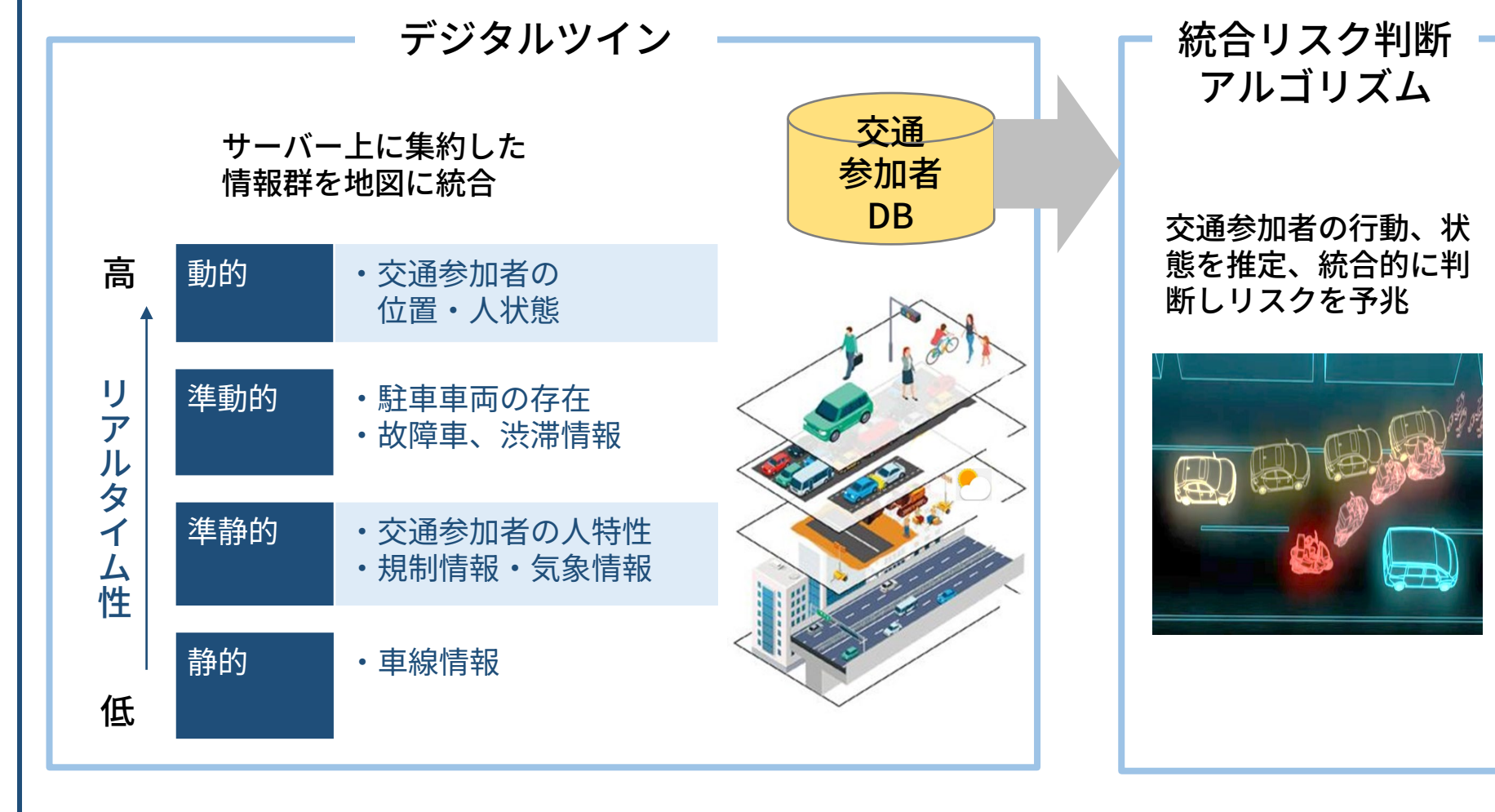
高揚・怒り

ストレス、体調変化

すべての交通参加者の個の状態を推定

予知予測

協調プラットフォーム



共話型コミュニケーション

潜在リスクの理解を促進



事故直前の対応ではなく、未然に構える

早期社会実装に向け、協調プラットフォームの標準化を業界/官民一体で推進